ツアー番号
LKVRYQVXST

ラマヤナ・ホリデー（10日間）

10日間・9泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

このプライベート10日間ツアーは、スリランカ全土のラーマーヤナ・トレイルに沿って進み、ヒンドゥー叙事詩に関連するサイトと島の幅広い文化的および自然的ハイライトを結んでいます。ルートは北東部のダンブッラとトリンコマリーから始まり、キャンディとヌワラ・エリヤ周辺の丘陵地帯を通り、ヤラの原生地帯と南海岸のガレに下り、最後にコロンボ近郊のネゴンボで終了します。

旅行者はラーマーヤナ伝説に関連する聖堂とランドマークを訪問します。その中には、コネスワラム寺院、シタ・アンマン寺院、ディヴルンポラ寺院、カタラガマ寺院、ウッサンゴダ、ルマッサラ、ムネスワラム寺院があります。また、ダンブッラ石窟寺院、シギリヤ・ロック・フォートレス、キャンディの聖歯寺院などの主要な遺産サイトも訪問します。行程には、紅茶の国での体験、ホートン・プレインズのトレッキング、ヤラのジープサファリ、スパイス・ガーデン、キャンディ、ヌワラ・エリヤ、ガレ、コロンボの都市ツアーが含まれています。

このツアーはプライベート・シャフェール・ガイドとエアコン完備の車両で全体を通じて運営され、サイトからサイトへ安定したペースで移動し、途中のホテルチェックインが手配されます。



日程詳細

1日目 Airport → Dambulla

On arrival at Colombo airport you are met by a Lakpura chauffeur guide and driven to Dambulla, with visits to a historic cave temple and an elephant orphanage on the way.



Dambulla Cave Temple

The caves of the Golden Temple of Dambulla date back to the 1st century BC and hold ancient murals of the Buddha's life and hundreds of Buddha and deity figurines across five main caves, including the Cave of the Divine King and the Cave of the Great King. A giant golden Buddha statue stands a short distance outside the cave complex.

Lankapic · CC BY 2.5



Pinnawala Elephant Orphanage

This orphanage near Pinnawala village in Sabaragamuwa province cares for young elephants displaced from their natural habitat and offers a close encounter with the world's largest land mammal.

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

2日目 ダンブッラ → トリンコマリー → ダンブッラ

トリンコマリーへの日帰り旅行では、断崖の上に建つヒンドゥー教寺院、海洋国立公園、人気のビーチを訪れ、その後ダンブッラへ戻ります。



コネスワラム寺院

トリンコマリーを見下ろすスワミ・ロックの上に建てられたこの寺院は、コネサルの姿をしたシヴァ神に捧げられており、伝説ではラーヴァナ王がかつてこの岩の上で瞑想したと伝えられています。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0



ピジョン島国立公園

スリランカに2つある海洋国立公園の一つで、ニラヴェリの沖合に位置し、大小二つの島からなり、同国で最も美しいサンゴ礁の一部が残っています。

AntanO · CC BY-SA 4.0



ニラヴェリ・ビーチ

トリンコマリー近郊の人気ビーチで、スキューバダイビングをはじめとするマリンスポーツで知られています。

Anton 17 · CC BY-SA 4.0

3日目 ダンブッラ → シギリヤ → マータレ → キャンディ

この日はシギリヤ・ロック・フォートレスの登頂とマータレのスパイスガーデン訪問を組み合わせ、その後キャンディへ移動して市内観光と伝統舞踊ショーを楽しみます。



シギリヤ・ロック・フォートレス

5世紀にカーシャパ王が統治したこの岩の要塞は、巨大なライオンの爪を模した入口から入ります。見学では、色褪せない有名な壁画を見て、階段式庭園や今も機能する貯水池を横目に急な階段を登り、かつての宮殿へ続く通路を通ります。

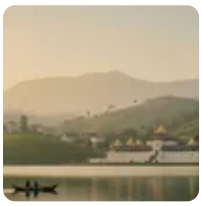
Wrobell · CC BY-SA 3.0



マータレのスパイスガーデン

スリランカのスパイスの都として知られるマータレ近郊のスパイスガーデンでは、アーユルヴェーダに使われる薬草・香辛料・植物が栽培されており、ガイド付きツアーでその用途や原産地について説明を受けられます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



キャンディ市内観光

夜の伝統舞踊ショーの前に、キャンディの町を巡る観光を行います。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



キャンディ伝統舞踊ショー

この1時間のパフォーマンスでは、火の舞や剣の舞、太鼓の演奏に合わせて踊るキャンディアン・ダンスなど、スリランカの伝統芸能を披露します。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

4日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

この日はキャンディの仏歯寺から始まり、ヌワラエリヤへ向かう途中にある滝を経て、ラーマーヤナ物語にゆかりのある二つの寺院を訪れて終わります。



仏歯寺

このユネスコ世界遺産は、仏陀の聖なる歯の遺物を納め守るために16世紀に建てられ、彩色された広間、彫刻の施された柱、金箔の施された仏像が見られます。

A.Savin · FAL



ランボダの滝

ランボダ・エッラはスリランカでも高さのある滝の一つで、3つの部分に分かれています。中間部分はA5号線から見ることができ、最上部へは橋付近の小道を登る必要があります。

A.Savin · FAL



シータ・アンマン寺院

ハッカラ植物園へ向かう途中に見られるこの寺院には、ラーマとシータの像や、二人の物語を描いた現代の絵画・彫刻があります。

Buddhika Mawella · CC BY-SA 3.0



ディヴルンポラ寺院

シータがラーマへの貞節を証明するためアグニ・パリークシャ(火の試練)を受けたとされる場所に建つ寺院で、今でも人々が誓いを立てる場所として使われています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

5日目 ヌワラエリヤ

ヌワラエリヤでの終日観光では、ホートンプレインズでのトレッキングと町自体の観光を組み合わせます。



ホートンプレインズ国立公園

オヒヤ近郊に位置するこの高原草原・雲霧林の公園では、「ワールズ・エンド」の断崖からの眺望やベイカーズ・フォールズの涼やかな水しぶきを楽しめるほか、固有の動物や考古学的に興味深い遺跡も見られます。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0



ヌワラエリヤ市内観光

高地の丘陵地帯に位置するヌワラエリヤは、イギリス統治時代に英国の田園町を模して建設された町で、ジョージアン様式やクイーン・アン様式の住宅、ゴルフ場、英国国教会の教会、公園などが見られます。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

6日目 ヌワラエリヤ → エッラ → ヤーラ

ヤーラへのドライブの途中、エッラに立ち寄り、茶畑の美しい風景や有名な橋・鉄道駅を徒歩で見学します。



エッラ

エッラ周辺の茶畑と岩肌の地形からは、リトル・アダムス・ピークを望むことができます。散策では「ナイン・アーチ・ブリッジ」を見学し、ループ状の線路設計で知られるデモダラ鉄道駅まで続きます。

Dan arndt · CC BY-SA 4.0

7日目 ヤーラ → カタラガマ → ヤーラ

この日は早朝のヤーラ国立公園でのジープサファリと、夕方のカタラガマにある主要なヒンドゥー教寺院訪問を組み合わせます。

ヤーラ国立公園ジープサファリ

スリランカ南東海岸に位置する同国第二の大きさを誇るこの国立公園での3時間のサファリでは、ヒョウ、野生の水牛、ナマケグマ、象の群れなど、様々な野生動物を見られる可能性があります。



カタラガマ寺院

カルティケーヤ・スブラマニヤム神に捧げられたこの寺院は、伝説の中で、ラーヴァナ王の武器からラーマ神を守った役割と結び付けられています。毎日3回のプージャ(礦拝)が行われ、参拝者は果物やお香、お金を捧げることができます。

Ghostface Buddha · CC BY-SA 2.0

8日目 ヤーラ → ウッサンゴダ → ガール

ガールへの道中、ラーマーヤナ伝説にゆかりのある何もない海岸台地を通り、その後ラーマーヤナに関連する丘を訪れ、ガール旧市街を観光します。



ウッサンゴダ

この木のない海岸地帯は、有毒な重金属を含む蛇紋岩の上に位置しており、そのため植物の生育が制限されています。ラーマーヤナ伝説では、ハヌマーンがラーヴァナ王の土地に火を放ったことでこの地が禿げた姿になったとされ、また、ラーヴァナの空飛ぶ戦車の発着地として使われたとも言われています。

A.Savin · FAL



ルマッサラ

ガールの東に位置するこの丘は、白いブッダダーゴバ(仏塔)を頂に持ち、ハヌマーンが薬草を求めてドロナギリ山をランカへ運ぶ途中に落とした一部であると伝えられ、シータがこの島に滞在していたという伝説とも結び付けられています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ガール市内観光

1663年に遡るオランダ統治時代に築かれたガール要塞は、三方を海に囲まれた岬を覆うユネスコ世界遺産で、古い城壁や通りに沿って植民地時代の建築が並んでいます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

9日目 ガール → コロンボ → ネゴンボ

北への旅はコロンボ市内観光を含み、その後ネゴンボへ移動して宿泊します。



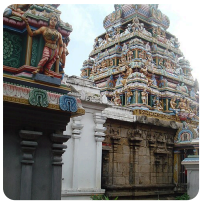
コロンボ市内観光

スリランカの首都を巡るこのツアーでは、オールド・ライトハウス、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館などの名所に加え、独立記念広場やレース・コース周辺のショッピングエリアも訪れます。

Gihanud2001 · CC0

10日目 ネゴンボ → 空港

最終日はチラウ近郊の寺院を訪れた後、空港へ移動し出発となります。



ムンネスワラム寺院

チラウ近郊にあるこの地域のヒンドゥー教寺院群は、少なくとも紀元1000年頃から存在し、伝説ではラーマーヤナのラーマと結び付けられています。この地域でシヴァ神に捧げられた5つの古代寺院のうちの一つです。

Leon Meerson · CC BY-SA 2.0

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, Fuel, Parking & Highway tolls.
- Service of English-Speaking Chauffeur Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.